

かんが
考へもの

三河 近藤とき子

わたしの末弟が或日、叔母様の處へ要用があつて行き
ました、とうとう日がかくれしました。妾の弟は男
ながら、夜道が甚だ恐いから、(虫の名二つ出づ)
あてゝごらん。

謎々

- 一、人力車夫とかけて、
- 一、めくらの障子張とかけて、
- 一、めくらの芝居見物とかけて、



家庭



ないしよといふこと

ふみ子

人の親として其子のよかれかしと望まぬものが
何處にございませうか、處が實際はなかく、そら
ばかりはまゐりませんで、自分の修養のたらぬた
め、また、不注意などのために、全く、知らず
天真爛漫な子供を、わるい方に導いて居るこ
とがわかります。

私はこういふ一人の女の兒を知つて居ります。